2017/07/26

イオン四日市尾平チアーズクラブのゴミ&リサイクル

Reuse
Recye
Reduce

伊勢湾に 豊かな海を取り戻そう!

ゴミが多い答志島で愛知・三重・岐阜から300人もの人がゴミ拾いに参加してくれました!

島の皆さんは、できるだけゴミ問題を解決してきたと思うので、そのお手伝をしたいです。

ゴミは山から川海てそして答志島と流れていきます。答志島の漂着ゴミは、伊勢湾流えきにすんでいるすべての人にかかわる問題です。

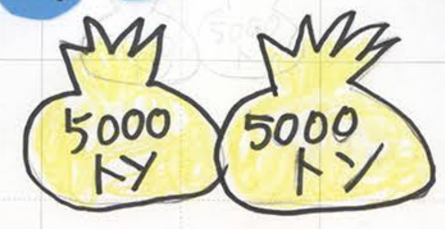
海岸のゴミは流木など自然界にあるものが多いです
ペットボトルや生活ゴミ、大きなタイヤ人間が出したゴミが目立ちました。

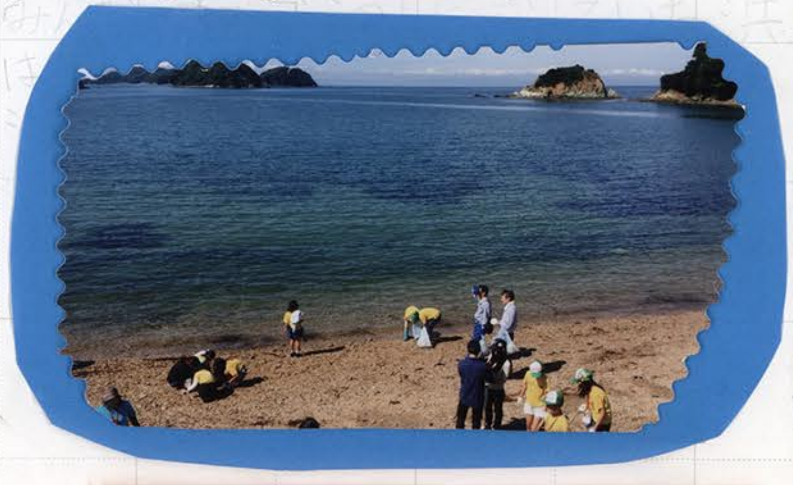
みんなの力でゴミの山になっていた浜は美しい海岸に変化しました。

ライターはどこから流れてきたのかが分かりやすいです。海のプラスチックごみは太陽のしがいせんで分解されて細かいマイクロプラスチックと言われる有害なゴミになります。海の生き物が飲みこんでしまうと魚を食べる私たち人間にあくえいきょうがあるため、細かいマイクロプラスチックのゴミを意識して拾いました。

マイクロプラスチック

1万トンのゴミの量!?





ゴミの問題は一部の人たちだけが守ってもかいけつしません。工場ではたらく人、川に住む人、山に住む人みんなが協力してとりくまなければならないと思いました。

答志島へ行く船にはカモメがついてきていてかわいいなと思いました。 ゴミ拾いはゴミがいっぱいいっぱいありましたが、海はとってもきれいでした。海とゴミという印しょうは、イヤだなと思いました。ゴミ拾いがおわったあとはきれいになっていました。けどゴミはちょっとはあったのでそれもきれいにしたいと思いました。

答志島のゴミ拾いをしているとキラキラした物が落ちていてよくみると周りにもたくさん落ちており聞いてみたらシーグラスという物でガラスが海の中でけずれ丸みをおびた安全な物だった。この前テレビでたまたまシーグラスが外国人に人気でシーグラスを拾い生活している…という番組をみてそれで終ったらたくさん拾ったけどたくさんあるということはビンなどをそれだけ捨てる人がいるのかな…ということを思った。

感想と宣言

SOS 答志島からのメッセージ

答志島は、のりやカキ、わかめがおいしくて漁業が盛んです。
島の皆さんたちは、のりを作る網を守りたいとゴミを集めますが拾っても、拾っても次のゴミが押し寄せてきます。

2017/10/0

しかも島の人たちは、のりやカキの網をゴミから守るためにオイルフェンスで囲いゴミが他の場所に行かないようにしてくれています。
漁師さんは、この処理のために何日も仕事ができなくなります。漁業に何億という被害が出るそうです。

ゴミをどんなに拾ってもまた押し寄せてきます。しかし、そのゴミは答志島の人たちは捨てていません。私たち自身がゴミをださないことをいしきして生活することが大切だと思いました。

島の人がだしたゴミではないのに、島の人がひろっているし、こまっているので、ゴミをみんなださないでほしいです。島の人のためだけでなく、私たちや、その他の生物のための[illegible]

島の人たちだけではゴミ問題を解決するには限界を超えているそうです。ここには、答志島の人が捨てたゴミはありません。私したちはこの問題を解決するかをみんなで話しあってきました。
①ゴミを減らす出さないように意識を高めることが大切です。
②伊勢湾の漂着ゴミ問題や保全についてみんなで考えて行動に参加し現状を発信して伝えていくことが大切だと思いました。

オイルフェンス

答志島が台風でこの状態に! 船の港も深刻 のりやかきも悪えいきょう!

かんきょうサミット開催

2017/12/17

米作りはリサイクル

伊内さんのゴミ&リサイクル講座はとても楽しく学ぶことができました。ありがとうございます。

ゴミを出さないようにするのは無理かもしれないけどゴミ多くしでも多くの人が減らしてゴミをすてないことが大切だと思いました。

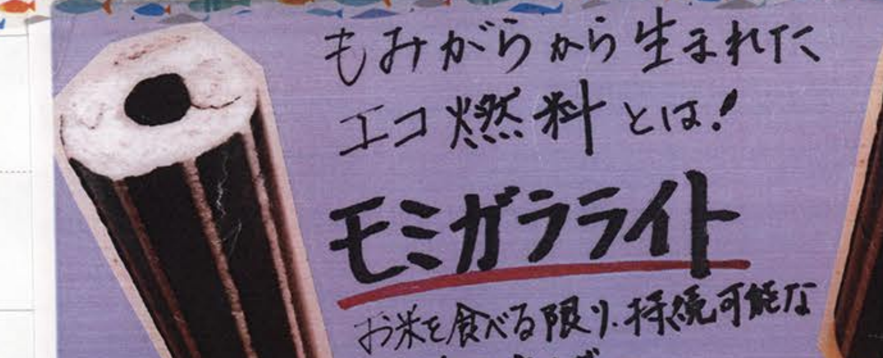
伊せわんの海をゴミから守ろう! リサイクルに意識をもつ
4年 船越 さき

海のゴミを無くすために山、川、海がつながること。継続していくこと。
6年 川村 愛斗

私たちはゴミ拾いをこれからも継続していきます。
五年 杉浦 康太

自然と共に 地域と共に 仲間と共に やっていこう!
5年生 藤ありさ

コンビナートの街にウミガメがやってくる四日市にしよう!!
5年生 小山奇 れな



もみがらから生まれたエコ燃料とは!

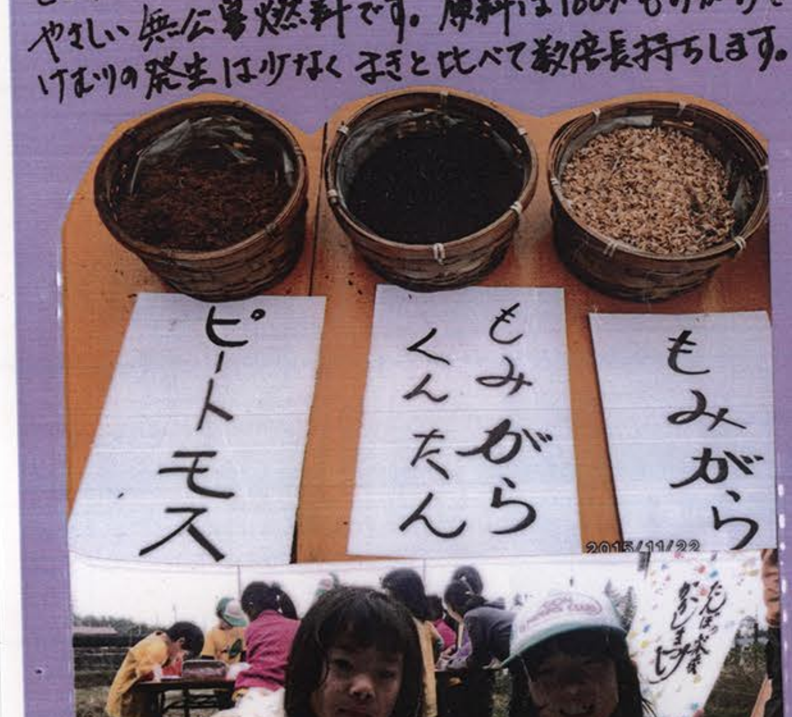
モミガラライト

お米を食べる限り、持続可能な燃料エネルギー

モミガラライトはもみがらをすりつぶして固形化した環境にやさしい無公害燃料です。原料は100%もみがらです。けむりの発生は少なくまきと比べて数倍長持ちします。

11月 もみがらくんたん

お米の収かく後は わら・もみは すべてリサイクルできるね



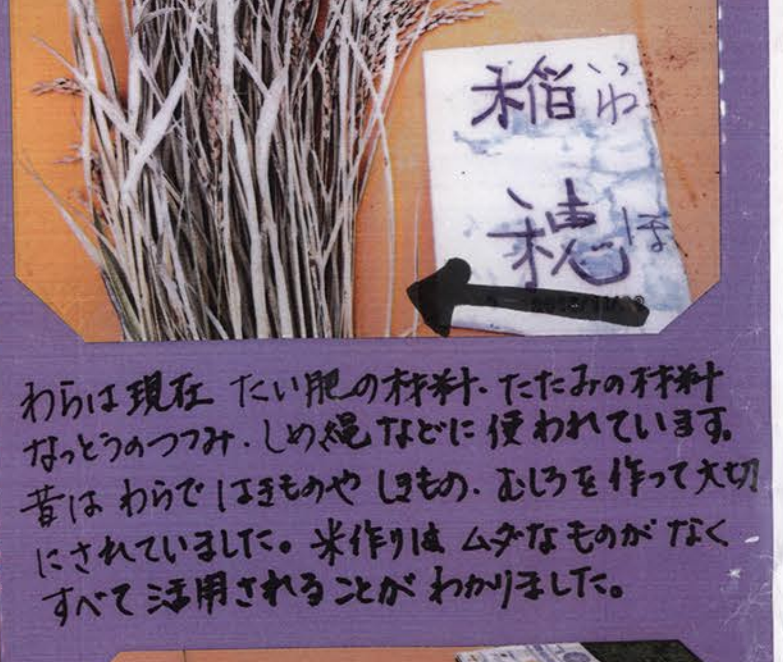
やきいも ホクホクだよ

稲穂のもみがらから もみがらくんたんを作り、くんたんを利用してたい肥ができる事、燃料にリサイクルできることを学びました。
もみがらくんたん器に脱こくした後のもみがらをかぶせて煙でむします

もみの水分だけ抜いた状態にして燃えて灰にならない様に焼いて黒くします。黒くなったらもみがらは畑や田にまいて肥料となります。ホカホカの焼き芋もできます。

わらやもみの活用 11月

いね刈り後もみをとるだっこくや秋処理をします。
だっこく後はわらやもみで焼き芋を仕込んだり、なっとう作りなどお米以外の部分の活用について学びました。



わらは現在たい肥の材料、たたみの材料なっとうのつつみ、しめ縄などに使われています。昔はわらではきものやしきもの、むしろを作って大切にされていました。米作りはムダなものがなくすべて活用されることがわかりました。

家庭から出る生ゴミをもみがらやわらピートモス等の材料を段ボールに入れてその中で減量、堆肥化を行う段ボールコンポスト作りを学びました。
ゴミが少なくなりエネルギーを使わず環境にとてもやさしい取り組みです。
ダンボールコンポストは自然界と同じく微生物の力を利用して生ゴミをたい肥へと変化させる生ゴミの処理で家庭でやってみたいと思いました。

- ワラ…たたみ、米だわら、やね、ぞうり
- モミ…肥料 もみがらくんたん
- ヌカ…食用油、石けん、つけもの

ダンボールコンポスト
ピートモス
もみがらくんたん
もみがら
米ぬか
お米

田んぼで米作りは、私たちにいろんな事をおしえてくれました。今まではごはんを残したりしたけどこれからは、感しゃしてお米一粒残さず食べたいです!!